

国際協力委員会

1, 2 月	<p>2014 年第 1 回会議 (1/10 15:00 – 16:30) 参加者 20 名</p> <ol style="list-style-type: none">1) 農林水産省プロジェクト国際会議<ul style="list-style-type: none">・ 3 月 4, 5 日 Sedona ホテル (ヤンゴン)・ 1 日目: (公開) 日本からのプレゼンは農水省、厚労省、消費者庁からを予定・ 2 日目: (非公開円卓会議) 農水省、厚労省、消費者庁、ILSI Japan、ILSI 東アジア、CLMV (カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム各国行政官)2) 農水省プロジェクト進捗状況<ul style="list-style-type: none">・ 中国: 1 月中に追加資料あり・ 台湾: フレームワーク (法体系) については作成中・ ILSI SEAR (アセアン) からは全部揃ってから・ 韓国: 昨年大幅改訂があったため、資料作成が遅れている・ インド: 栄養機能表示は英文の資料があるので、インドからの資料到着を待たずに作業を進める3) データベース化<ul style="list-style-type: none">・ 農水省は、委託事業として専門業者に発注する方針・ コンテンツは ILSI が提供する4) 新規メンバー<ul style="list-style-type: none">・ 長瀬産業(株)が ILSI Japan に新規参加。国際協力委員会に参加を希望 <p>第 2 回会議 (2/5 15:00 – 16:30) 参加者 19 名</p> <ol style="list-style-type: none">1) 農林水産省プロジェクト国際会議<ul style="list-style-type: none">・ 当委員会からの参加者: 山口、浜野、平川、細野、金子、香村、大島、関谷、滑川、土屋、高橋 (敬称略)2) 農水省プロジェクト進捗状況<ul style="list-style-type: none">・ スリランカ、韓国以外は、資料がそろった・ 韓国担当に大木氏追加、中国担当に梅木氏追加・ アセアン担当に篠原氏、吉村氏追加。10 か国を 6 名で分担する (報告内容が少ない国については複数国担当)。片嶋班長と細野代理で相談し担当分けをする3) ILSI 本部総会報告<ul style="list-style-type: none">・ 地域 15 支部から合計 300 名弱が参加。日本からは本部理事 2 名、事務局 5 名、HESI 4 名参加。・ 昨年設立された台湾が初参加。活動は高い評価を得ている。・ Meso-America 支部 (中米カリブ海諸国) 設立が承認された。・ 北米支部のセッションで、科学の信頼性が揺らいでいる問題について提言があった。・ 各支部のセッション資料、ポスターは、本部のウェブサイトに掲載されているので参照してほしい。4) 第 6 回 BeSeTo 会議<ul style="list-style-type: none">・ 今年 7 月 8 日 (火)、9 日 (水) 東京 (or 沖縄) で開催。
--------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Agenda は 4-5 月に固める ・ 中国から食品微生物規格を議題にするとの提案があった。 <ul style="list-style-type: none"> － 微生物研究部会とのジョイントも考える。 <p>第 3 回会議 (2/26 15:00 – 15:40) 参加者 17 名</p> <p>1) 農林水産省プロジェクト国際会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本から 15 名参加 (内、行政から 3 名) ・ 会議参加者は全部で約 50 名になる ・ 報告書 (「イルシー」に掲載) は高橋氏が執筆。 <p>2) 農水省プロジェクト進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スリランカ、韓国の資料が届き、全て揃った。 ・ 日本語訳を 3/14 (金) までに会員サイトにアップロード ・ 機関名は英語を残しておく ・ 国ごとにまとめ、3/31 or 4/1 に農水省に提出 <p>3) 26 年度の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2/27 に山口氏と浜野氏が農水省を訪ね、情報を入手する。 <p>4) BeSeTo 会議のテーマ (山口氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アセアン、インド、台湾も参加する。 ・ 中国からの食品微生物規格を議題にするとの提案に関して、微生物研究部会に打診したところ、MALDI-TOFMS 分科会で「興味あり」とのことであった。コラボを考える。
3, 4 月	<p>第 4 回会議 : 3 月 26 日 (水) 15:00 – 16:40</p> <p>出席者 : 計 13 名</p> <p>内容 :</p> <p>1) 農水省プロジェクト進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養表示一覧表 : 日本語英語併記、英文アブストラクトを加えることにした <p>2) 農林水産省プロジェクト国際会議 (ミャンマー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書 (「イルシー」に掲載) は高橋氏が執筆 ・ 来年の会議は、カンボジアあるいはベトナムを予定 <p>3) 平成 26 年度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今月中に農水省から情報が出る見込み (5 月にずれ込み) <p>4) 第 6 回 BeSeTo 会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7/8-9、東京で開催の予定 (9/25-26 に変更) ・ 初日の午前に公開セミナーを開催、「食品微生物規格」をテーマとして考えている ・ 農林水産省プロジェクトに関する事項も含め、5 月を目処に議題を固める <p>5) CCFA (Codex 食品添加物会議) 報告 (平川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3/17-21 香港で開催、参加者約 250 人 ・ 食品添加物摂取量のシンプルな評価のためのガイドラインの改定 (Step 5/8) : 日本への影響は少ない <p>香料物質の用語統一 : 表示ガイドライン</p>
5, 6 月	<p>1. 第 5 回委員会</p> <p>日時 : 2014 年 5 月 9 日 (金) 15:00 – 16:40</p> <p>出席者 : 15 名</p> <p>議事 :</p>

1) 平成 25 年度農水省プロジェクト

- ・ 報告書（資料(1)）：日本語英語併記
- ・ ILSI Japan ウェブサイトで公開
<http://www.ilsijapan.org/ILSIJapan/COM/Com-W.php#H25>
- ・ データを活用して欲しい。元データ（PDF、PowerPoint）が必要な方は浜野委員長まで。

2) 平成 26 年度農水省プロジェクトについて

- ・ 委託事業参加者募集の公示が遅れている。
- ・ スケジュール見込：計画書提出（5 月末）、入札 6 月初、予算執行（6 月中旬以降）
- ・ 現在、計画書案作成準備中（浜野氏）
- ・ 国際会議（11 月インド、2 月東京）を計画中

3) BeSeTo 会議

- ・ 9/25（木）、26（金）、東京で開催の予定。
- ・ 初日の午前に公開セミナーを開催する予定。
- ・ 議題の 1 つとして「食品微生物規格」を取り上げる。
- ・ ILSI Japan 食品微生物部会とのコラボレーションを、5/23 の微生物部会で、山口事務局長が提案する。

4) CCCF（Codex 汚染物質部会）報告（山口事務局長）（資料(3)）

- ・ 3/31-4/4 オランダで開催、参加者約 210 人
- ・ 詳細は、配布資料、「イルシー」誌 No.118（7 月刊行予定）参照

2. 第 6 回委員会

日時： 2014 年 6 月 3 日（火） 15:00 – 16:30

出席者：15 名

議事：

1) 平成 26 年度農水省プロジェクトについて

- ・ 5/28 公募公示、6/2 入札説明会（ILSI の他、未来工業研究所、工業市場研究所、テイクコが説明会に出席）
- ・ 6/11 までに提案書及び入札書提出、6/12 提案説明、6/13 開札、委託業者決定、

2) BeSeTo 会議

- ・ 9/25（木）、26（金）、東京で開催の予定。
- ・ 議題の 1 つとして「食品微生物規格」を取り上げる。
- ・ 日本からのプレゼン候補：豊福肇教授（山口大）、工藤由紀子室長（国衛研）
- ・ ILSI 東南アジアの Ms. Pauline Chan と 7 月に打合せ予定。

3. 第 7 回委員会

日時： 2014 年 6 月 26 日（木） 14:00 – 16:30

出席者：16 名

議事：

- 1) 平成 26 年度農水省プロジェクト「平成 26 年度食品産業グローバル展開インフラ整備事業のうち食品規格基準等調査」について

(ア) 経過

- ・ 6/11 に提案書、入札書を提出（提出者は ILSI Japan のみ）、6/12 にプレゼン
- ・ 6/13 開札、ILSI Japan に委託決定
- ・ 総合入札制：技術点 96 点/100 点満点、価格点 5 点/50 点満点、6/25 契約締結

(イ) 調査内容等

- ・ 農水省の意図は、「日本製品を東アジアに売り込むためのツールとしたい」
- ・ 調味料類（味噌、醤油）、清涼飲料水（ジュース、ミネラルウォーター）、アルコール飲料（日本酒、焼酎、ビール）、健康食品（手持ちデータでカバー可能）、乳製品（チーズ、バター）、食品表示（基本事項、アレルギー、GMO 等）、残留農薬（果実：リンゴ、ナシ、モモ、温州ミカン、ブドウ、カキ、イチゴ、メロン、茶、野菜：ナガイモ、カンショ、キャベツ、ダイコン、レタスの各国における輸入規制値）
- ・ 調査対象国（地域）に香港が追加された。法的枠組み、規格基準を調査する。
- ・ ILSI 支部に調査を依頼する（東南アジア、中国、韓国、台湾、インド）

(ウ) スケジュール

- ・ 報告書は 3/14 までに提出
- ・ データの入手、記入は、できれば 11 月までに終了させたい。（データベース化を外注するため）
- ・ 国際会議（11 月インド、2 月東京）を開催予定

(エ) データベース

- ・ 平成 24 年度、25 年度および本事業の調査内容をデータベース化する
- ・ 外注（再委託）する予定

(オ) 調査項目別担当

- ・ 日本の規格基準を基に質問票（英文）を作成する
- ・ 味噌・醤油（杉崎）、清涼飲料（金子）、健康食品（浜野）、乳製品（大島）、アルコール飲料（細野）、食品表示（浜野）
- ・ 香港（梅木）：Dr. Junshi Chen に問合せる
- ・ 残留農薬：各国での輸入品の残留農薬基準について、全体の枠組みおよび個別基準を調べる

2) BeSeTo 会議

- ・ 9/25（木）、26（金）、東京（全共連ビル）で開催。
- ・ 議題（案）
 - ・ 食品安全・事故事例：マルハ・ニチロ事件（案）
 - ・ リスクアセスメント
 - ・ 規制：食品表示基準改正の進捗、HACCP の導入
 - ・ 各支部共同活動
 - ・ 農水省プロジェクトの説明（依頼事項）
- ・ ワークショップ
 - ・ 微生物関連課題（ILSI Japan 微生物研究部会からの提案）：各国の微生物規格基準のある食品の分類、フードチェーンにおける適用箇所、規格基準の位置づけ（規制か自主規格基準か?）、試験法?

セミナー演者：大学、国立研究所の先生（案）

7, 8 月	<p>1. 第 8 回委員会 日時：7 月 29 日（火）14:00 – 16:00 出席者：計 16 名 議事： 6) 平成 26 年度農水省プロジェクト「平成 26 年度食品産業グローバル展開インフラ整備事業のうち食品規格基準等調査」： a) 経過、b) 調査内容等、担当者の確認、情報共有、c) インド会議スケジュールの確認、d) データベース 7) 第 6 回 BeSeTo 会議及びワークショップ ・ 9 月 25 日(木)、26 日(金)、東京（JA 共済ビル）で開催。 8) その他 ・ APEC（アジア太平洋経済協力会議）で産官共同ワーク（Public Private Partnership）の一つとして、APEC 各国の食品法規ハーモニゼーションに向けた取り組みが提案されている。まさに ILSI が行っている東アジアプロジェクトに相当するものであることから、APEC に ILSI プロジェクトを紹介する場を設けた。ILSI 全体並びに各地域での共同プロジェクトを紹介する資料を作成した</p> <p>2. 第 9 回委員会 日時：8 月 21 日（木）15:30 – 16:30 出席者：計 15 名 議事： 1) 平成 26 年度農水省プロジェクト「平成 26 年度食品産業グローバル展開インフラ整備事業のうち食品規格基準等調査」 ・ 調査内容等、情報共有 ・ インド会議（12 月 9、10 日）：インドの会議では、周辺国の政府代表を招待する。 2) BeSeTo 会議 ・ 9 月 25 日(木)、26 日(金)、東京（JA 共済ビル）で開催。 ・ 議題（案） - リスクアセスメント：食品安全委員会より最近の話題提供。 - 規制：栄養表示基準、栄養機能性食品（新機能）に関わる部分について、浜野氏がまとめる - 各支部共同活動：アジア栄養学会議の情報交換を希望（山口） - 農水省プロジェクトの説明（依頼事項） - 新規食品添加物指定の紹介については、日本食品添加物協会脊黒常務理事にデータの収集、プレゼン資料作成を依頼する。 ・ ワークショップ - 微生物関連課題とする。 - セミナー演者：豊福先生（山口大）。</p>
9, 10 月	<p>1. 第 10 回国際協力委員会 日時： 2014 年 9 月 19 日（金）16:00 – 17:00 出席者：計 14 名 議事：BeSeTo 会議のスケジュール、平成 26 年度農水省プロジェクト、農水省台湾プロジェクト</p> <p>2. 第 6 回 BeSeTo 会議及び第 3 回サテライトシンポジウム (ア) サテライトシンポジウム ”Microbial Criteria in Foods” ・ 9/25（木）10:00–13:00 JA 共済ビル - 進行役：山口氏 - 日本：豊福肇教授（山口大学）、韓国：Dr. Gyeong Kim、中国： Dr. Yunchang Guo (イ) BeSeTo 会議 1 日目（JA 共済ビル、進行役：浜野氏） ・ 9/25（木）14:30–16:00：セッション 1（リスク評価） - 日本：姫田尚氏（食品安全委員会）、韓国：、中国： ・ 9/25（木）16:15–17:45：セッション 2（規制） - 日本：浜野氏、梅木氏、韓国：、中国： (ウ) BeSeTo 会議 2 日目（JA 共済ビル、進行役：浜野氏）、 ・ 9/26（金）10:00–11:30：セッション 3（安全性、事故例） - 日本：なし、韓国：、中国：、台湾：Dr. Emily Kao</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9/26 (金) 13:00-14:55 : セッション 4 (支部間協力) <ul style="list-style-type: none"> - 昨年度農水省プロジェクトのレビュー、アジアの栄養健康機能表示 - 今年度農水省プロジェクトの進め方、今後の展望 ・ その他 (記録) : 会議議事録 : 平川氏、「イルシー」誌への執筆 : 土屋氏・二上氏 (ヤクルト) <p>3. 第 11 回国際協力委員会 日時 : 2014 年 10 月 17 日 (金) 15:00 - 16:20 出席者 : 計 14 名 議事 : BeSeTo 会議 (9/25-26 開催)、農水省プロジェクト (平成 26、27 年度)</p>
11, 12 月	<p>インド国際会議 (International Conference on Infrastructure Needs for a Food Control System: Roadmap for Regional Harmonization) を 12 月 9 日 (火) -10 日 (水) にインド、デリーにて開催。</p> <p>主催 : ILSI India, ILSI Japan 後援 : 農林水産省、インド FSSAI 及び EIC 参加者 : バングラデシュ、ブータン、インド、モルジブ、ネパール、スリランカ、シンガポール及び日本 (農林水産省、厚生労働省) の食品行政関係機関・研究所、FAO、食品業界から 108 名。</p> <p>内容 :</p> <p>セッション 1 : Food Control System in SAARC Countries セッション 2 : Codex and International Standards for Protecting Public Health and Ensuring Trade Practices in Food Trade セッション 3 : Promoting Harmonization of Food Safety Standards and Food Control System セッション 4 : Information and Communication パネルディスカッション : Infrastructure Needs to Promote Harmonization of Food Standards and Modern Food Control System for SAARC Countries</p> <p>なお、会議の概要についてはイルシー誌、詳細については ILSI India のホームページに掲載予定。</p>